



世界農業遺産
「清流長良川の鮎」
認定10周年記念事業

清流長良川の未来を考える

鮎パーク改革構想

佐藤風馬、宮嶋幸太郎、渡邊紗蘭 生駒葵 勝野詞葉

現在の課題



- ・ **交通アクセスの悪さ**：車なしでは行きにくい
- ・ **認知度の低さ**：若年層への情報発信が不足
- ・ **若者向けコンテンツの不足**：SNS映えする体験の不足
- ・ **夜間の活用の不足**：夕方で閉園してしまう
- ・ **夏以降の利用の不足**：特に秋・冬は利用者が激減

提案I：アクセス改善と学生向けツアー企画

期間限定の直行バスの企画

送迎付き
日帰りバスツアー

現地体験+魅力発見



学生証提示で乗車料金割引
あゆパーク入園料割引

バスツアー企画メリット・デメリット

メリット

- ・物理的なハードルの解消
- ・体験価値の向上
- ・情報発信効果

課題・改善点

- ・<コスト・運営面>
→自治体や大学との連携、補助金の活用
- ・<集客・PR>
→大学構内での告知、SNS広告の活用
- ・<継続性の確保>
→定期的な開催、内容の工夫



提案2：SNSフォトコンテストによる魅力発信

Instagramフォトコンテストの開催

あゆパークや長良川の美しい風景、体験の写真をテーマにしたInstagramフォトコンテストを開催します。

優秀作品には地元の特産品（鮎や加工食品、伝統工芸品など）を賞品として贈呈します。

メリット

視覚的な拡散力（美しい風景写真はSNS上で注目を集めやすい）

来訪動機の創出（「映える写真を撮りたい」という動機）

地域愛着・参加意識の向上（地域の魅力再発見）

低成本・高効率（参加者自身がコンテンツを作成）



投稿写真はあゆパーク公式SNSでリポストしたり、館内やホームページで展示・紹介したりして二次活用

提案3：芝生の利用（アクティビティ＆長良川ロード）

広大な自然の風景を活用したアクティビティ

景観を残したまま、大学生でも楽しめるアクティビティ！

体を動かして、非日常体験を味わう！

写真映えもするから、若者の呼び込みにも効果大！



長良川ロード

活用されていなかった芝生をかわいい道に変化！

飾りを長良川になごりがあるものにして、文化の広告にも！

夜にはライトアップすることで、昼とは違う様子を演出！



提案4：冬でも楽しめる施設を作る

活用されていない冬を楽しめるように!

足湯を作って、景観を活かしつつ、
寒い冬を乗り越えれるように!

長良川の水を利用して、
長良川の綺麗さを伝える!

水舟を利用した足湯や、
野菜や果物、飲み物を売るのもアリ!





友釣りのルアー化導入を積極的に推進

本体験プログラムでは **大学生と20~30代社会人** という次代を担う若者層に焦点を当て、清流長良川あゆパークを舞台に鮎友釣り文化の新たな扉を開きます

友釣りのルアー化 は、伝統の心髄を残しつつ誰もが手軽に挑戦できる革新的手法であり、初心者でも「釣れた!」と いう感動体験を得やすくすることで、鮎釣りへの入口を大きく広げます。

「たかが友釣り、されど友釣り」の世界に若い力を呼び込むことで、清流長良川の鮎文化は未来へ力強く受け継がれていくはずです。

本プログラムがその一助となり **長良川に再び若者たちの笑顔と歓声が溢れる** ことを願います

地域関係者との連携策



賛成・期待の声

鮎釣り人口の裾野拡大
につながる

遊漁券(入漁証)の売上

地域活性化PRになる



反対・懸念の声

オトリ鮎が売れなくなる
懸念

マナーを守らない釣り人増加
の恐れ

「伝統に反する」との感情的
反対



連携と対策の方向性



プログラム参加費の一部を **漁協に還元** する仕組み
漁協監修のルールブックと **マナー教育の徹底**
ベテラン釣り師に名誉ガイドとして参加依頼
期間限定・試験的な実証イベントとして提案



理想的な実施体制



充実した設備と環境整備

専用エリアの **仮設桟橋・デッキ設置**

日除けテントや休憩用ベンチの配置

清潔な更衣室・温水シャワー設備



最新の道具と豊富なレンタルギア

最新モデルの鮎ルアー専用ロッド を用意

サイズ適合したライフジャケット、ウェーダー

各種ルアーを状況に合わせて選択可能



専門スタッフと万全のサポート体制

参加者5人に対し **1人以上のガイド** を配置

安全管理のためライフセーバー資格保持者を常駐

漁協や地元消防と連携した緊急時マニュアル



引用:有限会社 向島テック |鮎友釣り用ルアー テリトリーアタック

まとめ

あゆパークの利用者(特に若年層)を増やすため、アクセス改善という大前提の課題をカバーしつつSNS発信策や夜間イベント、映えスポット設置などソフト・ハード両面から魅力を高める施策を提案しました。

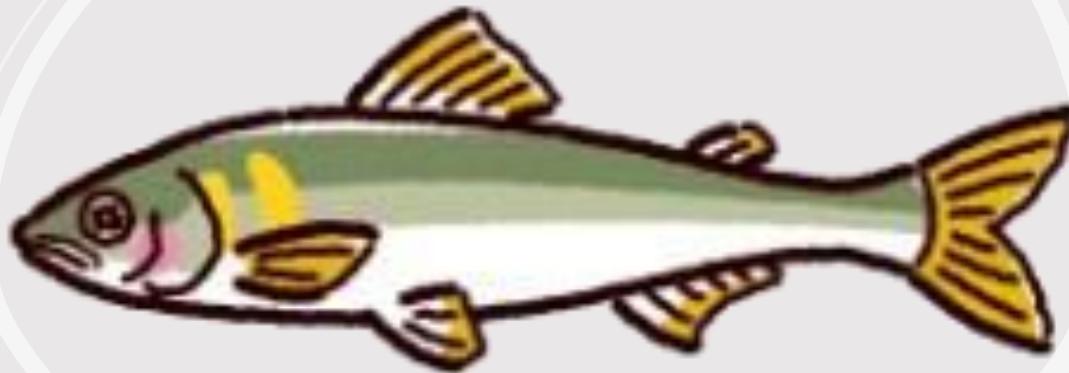
 アクセス改善と学生向けツアー企画

 SNSフォトコンテストによる魅力発信

 夜間ライトアップ&キャンプイベント

 芝生広場の景観アクティビティ充実

世界農業遺産の価値発信拠点という側面を活かしながら、
SNS 若者の視点でアップデートを図るこれらの施策よって、
 あゆパークが学生たちにとって
身近で魅力的な里川体験の場となることを期待しています。



15匹